

中国黒竜江省交通科学研究所との第4回技術交流ワークショップ

企 画 室

国際研究交流を行っている中国黒竜江省交通科学研究所の代表団が去る2月21日（火）、当研究所を訪問、第4回技術交流ワークショップを開催しました。

当研究所と黒竜江省交通科学研究所とは、平成14年3月に「積雪寒冷地における土木に関する技術交流を推進するための覚書」を締結して以来、平成14年10月（黒竜江省ハルビン市）、平成15年1月（札幌市）、平成17年3月（ハルビン市）と過去3回に亘ってワークショップを開催しており、今回が第4回目となります。



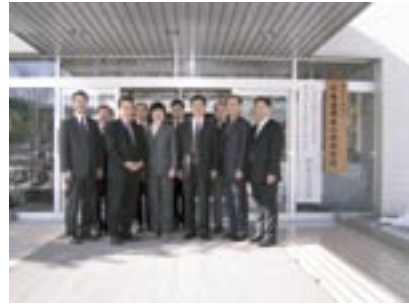
写真－1 研究交流会議の様子

今回は交通科学研究所の曹所長、所員1名のほか、黒竜江省交通庁より1名、黒竜江省編成弁公室から2名の計5名が来所され、研究交流を行いました。

現在黒竜江省では大規模な行政改革が進んでおり、同研究所も公的研究機関と民間企業に分割されることから、組織再編の途上にある当研究所との情報交換及び今後の研究交流のあり方を検討することが今回のワークショップの主たる議題となりました。



写真－2 土質基礎研究室の研究紹介



写真－3 研究所玄関前での記念撮影

当日は午前中が研究交流に関する会議で、予算や人事など研究所運営について討議。午後は構内実験施設の見学と研究説明で、構造研究室、土質基礎研究室、維持管理研究室と交流しました。その後一行は札幌市内や道内の公共施設の視察を行い、翌週中国への帰途に就きました。



写真－4 札幌市北口融雪槽の視察

先方は分割、当方は統合と形態は異なりますが、ともに組織再編という大きな課題を抱えながら研究を推進してゆくという困難な事業に取り組んでいます。今後は研究はもとより、研究所の運営についても意見交換を密にし、より多角的な研究交流を目指していきます。